

事業通信

2026
vol.1



編集発行／2026-2027西日本区事業主任



YMCAサービス事業通信

2026-2027年度

YMCAサービス事業主任

森 博之（熊本ジェーンズ）

事業主題

みつけよう。つながろう。よくなっていこう。

ご挨拶

YMCAサービス事業主任を務めます 森 博之 と申します。直前期はクラブ会長でしたが、今回、初めての主任ということで、大変、緊張しています。これまで熊本YMCAには常議員として関わっており、今期は常議員会議長も担います。

西日本区の各YMCAの状況や各部・各クラブとの関係に応じて、YMCAサービスに取り組むことで、より良いワイズ活動に繋がり、クラブの魅力向上にもなると思いますので、これまで以上に「**がまだして**」いただくと幸いです。

※「頑張って」の熊本弁

今期の活動方針について

YMCAのブランドコンセプト「みつかる。つながる。よくなっていく。」の担い手になるために、先ずは、YMCA事業や活動に積極的に参加して、既存プログラムでの困りごとを補完したり、バリューアップの余地を探るなど、共に取り組む協働事業を見つけていただきたいと思います。

ただ、私自身は各部・クラブとそのパートナーとなる各地のYMCAとの関係に知見がありません。そこで、様々な機会に各部での近況を伺ったり、各地のYMCAのニーズがどのようなものかアンケートを行うなど、状況把握に努めたいと考えています。そこでの課題や参考にしたい取り組みなどは、積極的に情報提供しますので、各部・クラブでの活動の参考にさせていただきたいと思います。

足元の熊本YMCAと熊本県内のワイズメンズクラブでは、この6月に交流懇談会を行いました。各クラブとも既にYMCAとの緊密な関係を持っていますが、一方では、慣例化している取り組みなどには見直す点もあるようですので、今後、踏み込んだ協議等も行いながら、既存のYMCAとの協働事業もシェイプアップ出来ればと思います。また、西日本区各クラブのYMCA担当主事の見直しについては、

「担当主事会員」として配置して欲しいとの意向を伺い、各クラブの事情に応じた対応を検討されています。

今期は、各部の部長・主査の皆様との連携はもとより、各事業主任とも情報共有を密にしながら、取り組んで参りたいと存じますので、よろしくお願いします。



熊本YMCAとの交流懇談会



ユース事業通信

2026-2027年度
ユース事業主任

上杉 徹（神戸西）

事業主題

明日の指導者は今日造られる

ご挨拶

新設されましたユース事業主任の上杉 徹です。2024-2025年度のYMCAサービス・ユース事業主任の経験を経て、私がこども時代のように「こどもとユース世代が夢や希望を語れる社会の再構築」を目指して、各部・各クラブの皆様と共に考えていきたいと思います。

神戸YMCAでの18年間、児童養護施設神戸真生塾での19年とこどもとユース世代の支援を担い続けてきた経験から『明日の指導者は今日造られる』の事業主題の基、推進して参ります。次代を担うユース世代と地域課題に向き合う活動や交流、IYC・AYCに送り出すなどからYMCAのボランティア活動等に繋ぎ、未来人として各地のワイズメンズクラブに入会する種まきを行います。

今期の活動方針について

ワイズとユース世代が出会い、交わり、活動を共にしていくことで良い化学反応が起きます。

「ひと（人）儲けしませんか」「お互いに動機は不純でOK」です。

そのために

- ・各部のYYYフォーラムや各クラブ例会においてユースとの交流や行事を開催しましょう。
- ・2027年2月には「西日本区でのユースコンボケーション開催」に向けてのミーティングを開催いたします。
- ・4月役員会にて「Y's×SDG's Youth Action 2026西日本区報告会」を開催いたします。
- ・ユース事業を継続して推進するために次期への課題・情報提供を丁寧に行います。

なぜ、YMCAサービス事業とユース事業を分けるのかを確認したい部やクラブについてはお伺いしてお話しに参ります。1年間よろしくお願いいたします。



地域奉仕・環境事業通信

2026-2027年度

地域奉仕・環境事業主任

東 菜保子（熊本にし）

事業主題

**あらゆる世代が思い描く未来へ！
次の世代に誇りを持ってバトンタッチ！！**

ご挨拶

今期、地域奉仕・環境事業主任を務めます熊本にしクラブの 東 菜保子 です。

入会直後に熊本地震を経験し、被災地支援に関わったことが、奉仕や環境への思いにつながりました。その後、九州部役員やクラブ会長を務め、特に事業主任が決まった後の2025-2026期に会長として活動したことは、「事業主任とは何か」を会長の立場から考える貴重な機会となりました。今期は区内事業に加え、理事方針のもと国際へ視野を広げる一年にしたいと思います。皆さんとともに歩んでいけることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

今期の活動方針について

現代は、ライフスタイルの変化やDX社会への急速な移行、そして少子高齢化など、これまでにない大きな変化の中にあります。便利さが増す一方で、地域のつながりや人と人との関係が少しずつ薄れてきていることが心配されています。また、気象変動の影響により災害が増え、環境汚染の深刻さも増している今、私たちの暮らしはさまざまな課題と向き合っています。だからこそ、地域のつながりをもう一度丁寧に育て直し、持続可能な社会をつくっていくことが、これからの時代にとって大切なテーマになっているのだと思います。

その再構築に寄り添い、力を発揮できる存在こそ、ワイズメンではないでしょうか。地域に根ざし、人と人をつなぎ、奉仕と環境の視点を大切にしながら活動してきた私たちだからこそ、地域社会の未来にそっと灯りをともす役割を担えると感じています。小さな一歩の積み重ねが、次の世代へと続く大きな力になるはずです。

今期は、次の4つを柱に活動を進めていきます。

- ① 地域の「社会・環境・経済」を意識したコミュニティサービス事業の支援
- ② コミュニティサービスの視点を生かした環境保全活動の推進
- ③ ワイズメンズクラブだからこそできる災害支援体制の構築と防災教育
- ④ RBMプラス事業として、西日本区からの啓発・予防教育の発信

これらの取り組みを通して、地域と世界の未来に寄り添いながら、皆さんとともに歩んでいける一年にしたいと思っています。



EMC事業通信

2026-2027年度
EMC事業主任

大橋 芳夫（京都パレス）

事業主題

**三方よし、みんな笑顔に！
～ワイズよし、YMCAよし、西日本区よし。
笑顔の輪を広げましょう～**

ご挨拶

西日本区EMC事業主任を拝命した 大橋 芳夫 です。京都パレスクラブに所属して11年目になりました。2年前に京都部においてEMC事業主査の経験はありますが、西日本区に輩出されるのは初めてですので、期待と不安が入り混じっている状況です。

特別なことは出来ませんが、今まで自分や他のメンバーが新入会員を探してきた経験等を生かして、西日本区の活性化に繋げていきたいと考えています。

今期の活動方針について

- ・7月より各部EMC事業懇談会の開催
岡村理事並びに各部部長、EMC事業主査の事業方針の確認とEMC事業に対する必要性の確認を行う。
- ・新入会員オリエンテーションの開催
新入会員にはワイズメンズクラブの正しい知識を持ってもらうために、入会前にはオリエンテーションを開催する
- ・9月、EMC事業強化月間
各メンバーにEMC事業の詳細及び必要性の確認を行う。
- ・ワイズメンズクラブの広報の必要性
- ・入会候補者をゲストスピーカーとして招聘
- ・会歴の深いメンバーと浅いメンバーの交流促進
- ・クラブの歴史を将来に保全（C=Conservation）する
- ・他交流会への参加
- ・各部、各クラブの交流を図り、入会候補者には、他クラブでも構わないので、入会式の行われている例会に参加してもらう。
- ・各部で開催される事業の広報を行い、他部のメンバーの参加も促し、各部の交流を深める。
- ・EMC事業は継続事業であるので、次期に情報等を引き継ぐ。



国際・交流事業通信

2026-2027年度

国際・交流事業主任

西村 寛子（京都ZERO）

事業主題

～ワイズならではの醍醐味を満喫していますか？～

ご挨拶

国際・交流事業主任を務めます京都ZEROクラブ所属の西村 寛子（よしこ）です。今期事業主題を「ワイズならではの醍醐味を満喫していますか？」とさせていただきます。奉仕団体としてのワイズはYMCAの支援という大前提のもとで、YMCA活動に倣って家族ぐるみでの活動、実際に体を動かしての奉仕活動を行うことにその大きな魅力があると考えます。ワイズメンとして共通の理念と視野に立って活動し、活動を通して多くの方々と交流し、友達の輪を広げそこから更に活動の輪を大きく広げていく。これこそがワイズの醍醐味であると考えます。

今期の活動方針について

今期、この醍醐味を共に存分に味わえるよう区を挙げて取り組んでいただけたらと、事業方針を「**国際的な広い視野に立って、自身の周りからクラブ・部・区・世界へと交流の輪を広げ、共にワイズ精神に基づく交流を通してワイズメンの協働を実現しよう**」とさせていただきます。

そこで皆様には次のように事業活動を進めていただきたいと思います。

1. クラブ内にとどまらず、積極的に他クラブ記念例会や事業に参加する。
2. 自クラブ所属の部会のもとより他の部会・東西日本区大会、可能であるならエリア大会や国際大会への参加をクラブ内から盛り上げて参加に努める。
3. IBC・DBCの現状を把握し、締結先との交流内容についての見直しを図る。
4. STEP・iGOについての理解を深めることでこの事業内容への取り組みを促進する。
5. BF・EF献金の目的の理解を深め、献金目標額の達成に努める。

国際・交流事業に関する懇親会を、以上4. 5. についての勉強会も兼ねてできるだけ早い時期に各部に於いて開催を図る予定です。

また、特に区全域の活性化のために**DBCについての見直し**をお願いしたいと思います。元気なクラブ同士のDBCについてはこれまで通り活発な交流をお願いすると同時に、会員数減少や高齢化で活動に行き詰るクラブへのサポート的な立場でのDBC締結を考えてみていただきたいと思います。勢いがあり元気な部やクラブが、SOSを発しているクラブや部への積極的な働きかけや協働の為の新たなDBCや既存のDBCの見直しを考えていただきたいと思います。そのためには**西日本区すべての事業に於いての協力を惜しみません**。IBCについては、国際的な見識を広め異文化を学ぶ意味でも大切に育てていただきたいと思います。こちらも形骸化してはいないかなどを含めての見直しをお願いいたします。

上記内容をしっかり実践していくために各部部長・主査の皆様の協力をお願いいたします。



2026年6月12日に開催された西日本区大会では
奈良の地に集い、お互いの結束を深めました
各事業主任とも決意新たに取り組んで参りますので
何卒よろしくお願い申し上げます



最後までお読みいただき
ありがとうございました

